

平成 21 年 7 月 31 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、雇用情勢が悪化し、生産活動、個人消費、観光関連も低調に推移し、厳しい状態が続いている。

生産活動は、電子部品関連が持ち直しているものの、食品関連が伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額や新車（乗用車・軽自動車）販売台数がともに前年を下回った。投資関連では、公共工事が増加したものの、民間建築工事、住宅着工ともに低調。その間、観光入り込み客数も前年を下回った。

【生産活動】 ... 低調

電子部品関連は、IC 生産が在庫調整の進展により、持ち直している。

6月の**生コン**生産（出荷量）は、公共工事向けが横ばいの中、民間工事向けが前年を上回ったことから、全体で前年比 9.4% 増と、2 年 4 か月ぶりに前年を上回った。

6月の**紙パルプ**生産は、前年比 16.3% 減と引き続き低調に推移している。

木材関係は、住宅建設向け需要が弱いことから、製材品が生産、出荷ともに低調に推移している。

6月の**大島紬**生産は、前年比 32.2% 減となり、依然厳しい減反基調に変化はない。

焼酎の生産は、全体には減少傾向にあり、出荷も伸び悩んでいる。

5月の**かつお節**生産は、10 か月ぶりに前年を上回った。

【畜産関連】 ... 弱含み

肉用牛（和牛）の枝肉相場は前年を下回る水準に変わりはなく、子牛価格も前年を下回っている。加えて、豚肉相場、プロイラー相場、鶏卵相場も前年を下回る水準で推移している。

【消費関連】 ... 低調

5月の百貨店売上げは、衣料品、食料品ともに前年を下回り、全体では前年比3.5%減と3か月ぶりに前年を下回った。5月のスーパー売上げは、衣料品が低調ながら、食料品が前年を上回ったことから、全体では0.7%増と4か月ぶりに前年を上回った。なお、大型小売店（百貨店+スーパー）販売は、0.8%減と前年を下回った。

6月の乗用車新車販売台数は、ハイブリッドカーやエコカー減税の効果がみられたものの、3.0%減と11か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は2.3%減、小型車は3.4%減となった。軽自動車は22.9%減と7か月連続で前年を下回った。

【観光関連】 ... 低調

6月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比12.2%減と5か月連続で前年を下回った。霧島地区では、ETC利用による入り込み客が増え、6か月ぶりに増加に転じたものの、他の地区ではビジネス客の低迷や「篤姫」効果の反動等により前年を下回った。また、種子島・屋久島地区は、前年好調の反動により大幅な減少となった。この間の主要観光施設入場者数は、一部を除いて前年を下回った。

【投資関連】 ... 低調

6月の**公共工事**(西日本建設業保証調べ)は、前倒し発注や補正予算の効果もあり、件数、請負金額ともに前年を上回った。

5月の**民間建築工事**は、棟数、床面積、工事費予定額の全てにおいて前年を下回った。

5月の**新設住宅着工戸数**は、持家、貸家、分譲すべてで前年を下回り、全体で前年比 56.8% 減となり、6か月連続で前年を下回った。

6月の主要**建設資材**卸売業者の売上げは、前年を下回った。

【貿易関連】 ... 低調

5月の**輸出額**は、半導体等電子部品や科学光学機器などが大幅な減少となったことにより、全体で 40.7% 減と 3か月連続で前年を下回った。**輸入**は、原油及び粗油や穀物及び同調整品が前年を下回ったことから、全体では前年比 62.4% 減と 7か月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】 ... 悪化

5月の有効求人倍率は、前月を 0.02 ポイント下回る 0.34 倍となり、雇用情勢は悪化している。

【金融情勢】 ... 伸び悩み

資金需要は、設備資金が弱含んでいる。

【企業倒産】 ... 一服

6月の**企業倒産**は、件数が 7 件と前年同月(14 件)を下回ったものの、負債額は大型倒産の影響もあって、137 億 70 百万円と前年(123 億 63 百万円)を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)鹿児島地域経済研究所(099-225-7491)